

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【公表番号】特表2015-535521(P2015-535521A)

【公表日】平成27年12月14日(2015.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2015-078

【出願番号】特願2015-544104(P2015-544104)

【国際特許分類】

C 03 C 3/095 (2006.01)

C 03 C 3/097 (2006.01)

C 03 C 21/00 (2006.01)

【F I】

C 03 C 3/095

C 03 C 3/097

C 03 C 21/00 101

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

$\text{SiO}_2$ 、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{Na}_2\text{O}$ 、および7mol%までの $\text{Y}_2\text{O}_3$ を含み、2を超えるモル比 [ $\text{Al}_2\text{O}_3$  (mol%) /  $\text{Y}_2\text{O}_3$  (mol%)] および少なくとも80GPaのヤング率を有する、ガラス。

【請求項2】

約40mol%～約82mol%の $\text{SiO}_2$ と；約4mol%～約40mol%の $\text{Al}_2\text{O}_3$ と；約4mol%～約26mol%の $\text{Na}_2\text{O}$ と；約1.5mol%～約7mol%の $\text{Y}_2\text{O}_3$ とを含む、請求項1に記載のガラス。

【請求項3】

$\text{Al}_2\text{O}_3$  (mol%) /  $\text{Na}_2\text{O}$  (mol%) > 1である、請求項1または2に記載のガラス。

【請求項4】

$\text{Al}_2\text{O}_3$  (mol%) /  $\text{Na}_2\text{O}$  (mol%) < 1である、請求項1または2に記載のガラス。

【請求項5】

少なくとも1種の二価の金属酸化物をさらに含み、該少なくとも1種の二価の金属酸化物が、 $\text{ZnO}$ および1種以上のアルカリ土類酸化物のうちの少なくとも1つを含む、請求項1から4のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項6】

$\text{Y}_2\text{O}_3$ 以外の少なくとも1種の希土類酸化物をさらに含む、請求項1から5のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項7】

$\text{B}_2\text{O}_3$ 、 $\text{P}_2\text{O}_5$ 、および $\text{TiO}_2$ のうちの少なくとも1つをさらに含む、請求項1から6のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項8】

少なくとも 700 の歪み点を有する、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項 9】

少なくとも 660 kgf/mm<sup>2</sup> (約 6468 MPa) の 200 g f (約 1.96 N) ビックース硬度を有する、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項 10】

イオン交換されたものであり、該イオン交換されたガラスが、その表面から内部へと少なくとも 40 μm の圧縮応力層深さまで広がる圧縮層を有し、該圧縮層が、少なくとも 800 MPa の圧縮応力を有し、該イオン交換されたガラスが、少なくとも 750 kgf/mm<sup>2</sup> (約 7350 MPa) の 200 g f (約 1.96 N) ビックース硬度を有する、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載のガラス。